

「茨城大学サイエンステクノロジーフェスタ 2012」を開催いたしました。

平成 24 年 4 月 21 日(土)の午後に「茨城大学サイエンステクノロジーフェスタ 2012」を開催いたしました。この企画は小・中・高校生や一般市民の皆さんに科学技術に親しんでいただくためのイベントで、平成 24 年度 科学技術週間の参加事業でもあります。今回は、体験講座を中心に構成し、「重さの違うボールを早く見つける方法」を考える講演に続き、物理、科学、生物、地学に関する実験体験講座 7 件を実施いたしました。

他にも科学技術週間での公開があったことや、近隣小中学校での学校行事が重なったようで、小・中学生の参加がほとんどありませんでしたが、県内の高校などから多数の皆様がお越し下さり、最終的な参加者数は、小学生 1 名、高校生 77 名、大学生 3 名、一般 13 名の、合計 93 名となりました。

参加者アンケートでは、「もっと体験公開をしている時間を延ばして欲しい(高校生)」、「ぜひ体験講座数を増やして欲しい(一般)」、「とてもわかりやすく楽しかった(一般、高校生)」などの感想が寄せられ、ほとんどの皆様から「また参加したい」との回答をいただきました。近隣の学校などへのダイレクトメールをお送りするようにした結果、宣伝不足へのご批判は減りましたが、それでも「もっと広報の工夫ができるのでは」とのご意見もいただきました。今後も、わかりやすく楽しい科学体験講座の充実に務めてまいります。参加下さった皆様、どうもありがとうございました。

理学部学術委員会一同

提供した企画のご紹介

1. 身近にサイエンス！講演 午後 1 時 30 分～午後 2 時 20 分

「数え上げとアルゴリズム」

藤間昌一(茨城大学理学部)



講演の様子:重さの違うボールを早く見つけ出す方法を考えています

2. 体験イベント 午後 2 時 30 分から午後 4 時 30 分

(1) 物理学:「マイナス 196℃の世界」

横山 淳(茨城大学理学部)

(2) 化学:「物質の発光のしくみ」

山口 央(茨城大学理学部)

(3) 化学:「手形のニンヒドリン反応」

大橋 朗(茨城大学理学部)

(4) 生物科学:「ハチで刺すのはメスだけ」

小嶋純一(茨城大学理学部)

(5) 生物科学:「モデル生物ショウジョウバエの世界」

仁木雄三(茨城大学理学部)

(6) 地球環境科学:「地球儀を作って、地球や宇宙を感じてみよう」

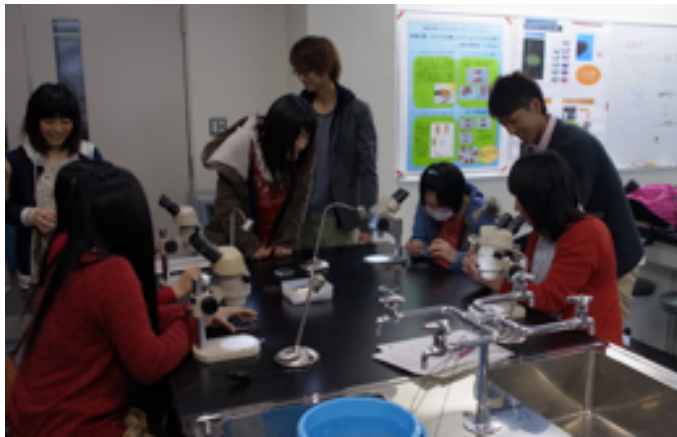
野澤 恵、片桐秀明(茨城大学理学部)

(7) 地球環境科学:「今年もやります！身近な道具で噴火体験」

長谷川 健、藤縄明彦(茨城大学理学部)



科学捜査のしくみを体験



昆虫の解剖に挑戦！



超伝導体って何だろう



キッチンで大噴火？(料理教室ではありません)